

キンメダイの資源管理手法開発研究

【研究概要】

伊豆諸島におけるキンメダイの漁業実態、資源生物特性の把握により、キンメダイの資源管理手法を開発し、広域的資源管理の展開に必要な科学的根拠を提供する。

①2022年の東京都の漁獲量は880.0トン（前年比91.6%）で、80.7トンの減少であった。

②尾叉長測定を大島で27尾、神津島で1,541尾、八丈島で8,589尾について行い、漁場別魚体組成を整理した。精密測定を神津島で99尾、八丈島で411尾、年齢査定を伊豆諸島全体で550尾実施し、結果を年齢組成や成熟状況の把握、Age-Length key 更新等、資源量推定のためのデータとして用いた。

③5～10月に大島から鳥島の10測点ではリングネット調査でキンメダイ卵が計574粒採集された。仔魚については採集されなかった。

④大島、神津島、八丈島で水揚げされたキンメダイの尾叉長組成のモニタリングを実施。また、八丈島周辺漁場を対象として、計量魚探推定値と成長・生残モデルから禁漁の効果を試算した。

⑤資源量推定の結果から関東周辺から伊豆諸島周辺海域における2021年時点の資源量は28.6千トン、資源水準は低位、資源動向は増加と判断された。